

神根中だより

～歌声と笑顔あふれる学校～

令和4年12月号

学校教育目標
主体的に学ぶ、
心豊かでたくましい生徒



川口市立神根中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

勉強は「頭」ではなく、「心」ですもの

校長 松村 一人

私は頭が悪いから勉強ができない…だから、成績が悪くても仕方がない…と思っていませんか？本当でしょうか？

何ヶ月前に「勉強が面白くなる瞬間」（パク・ソンヒョク 著・吉川南 訳・ダイヤモンド社発行）という本を読みました。

この本を読んで、神根中の生徒全員に読んでほしいと思いました。一文一文に重みがあり、すべての文章にアンダーラインをしたくなりました。ただの勉強法の本ではないのです。勉強に向かう姿勢…決意の大切さを説いています。勉強は「頭」ではなく「心」ですものであり、苦しくても頑張ろうと決めた瞬間、全てが変わると書いてあります。〇〇勉強法とか〇〇暗記法とかいう小手先のテクニックではなく、**勉強に対する心構えこそ最も重要**だということが分かります。

この著者は15歳の中学生まで、勉強をまったくしていませんでした。遊ぶことしか考えておらず、1日10時間以上も寝て、毎日2時間はテレビを見ていて、かと思えば、徹夜でオンラインゲームをして目が真っ赤になったり、ネット上にある全てのウェブ漫画を読みあさっていたりしたそうです。そんな著者があるとき、

「自分はいま、何やってるんだ？」

と自問自答します。そして、こう決心しました。

「自分に自分のことを信じさせてみよう」と。

そして、問題集をたくさん買ってきて、目標を立てました。その目標とは、

- ①鼻血が出るまで勉強すること。ただし、鼻をほじらずに
- ②親から「もう勉強はそれくらいにして、頼むから寝なさい！」と頼まれること
- ③そして何よりも、「サボリ」を少しずつ減らしていくこと

笑ってしまうかも知れませんが、著書にとっては真剣で、自分で決意して立てた目標です。

最初は、数学を一問解くのに何時間も頭を痛め、英単語を一つ覚えるのにも100回ずつ書いたそうです。その努力を続けていく内に、

「心を入れ替えたただけなのに、勉強が面白くなった！」

と気づき、「変わっていく自分」を実感していきます。

「自分で自分のことを信じてやりたい！」と思い、その気持ちをなくさないように、頑張り続けることだけに集中したそうです。

そして、自分自身に約束をしました。

「二度と君を投げ出さないよ」…と。

全く勉強ができなかった著者は、努力を続けた結果、韓国のソウル大学などの法学部・経営学部・医学部に同時合格する快挙を達成して、周囲を驚かせたそうです。

この2学期、神根中学校のみなさんは、体育祭や合唱コンクールや授業での学び合い、部活動など、素晴らしい活躍をして、大きく成長しました。感動をありがとう。もし、何かを決意する人がいるならば、みなさんにも絶対できます。みなさんは信じるに値する存在です。

